

安全データシート
EDT-X

作成日:2018年9月1日

改訂日:2024年4月1日

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称	EDT-X(イーディーティー-エックス)
製品コード	CS-7101-1L、CS-7102、CS-7104
会社名	株式会社ファルマ
住所	東京都渋谷区大山町 36-7
電話番号	03-6407-2570
ファックス番号	03-3465-0300
電子メールアドレス	marketing2@falma.co.jp
緊急連絡電話番号	080-8878-0242
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用:病理検査用脱灰液

2. 危険有害性の要約(製品の情報がいため、成分のデータから区分を推定した)

GHS 分類	該当区分なし
GHS ラベル要素	
絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
成分及び濃度			
成分	濃度	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法/安衛法)
エチレンジアミン四酢酸二水素 二ナトリウム二水和物	18.5%	6381-92-6	(2)-1265/2-(4)-116

4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。
皮膚に付着した場合	水で洗うこと。 皮膚刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼により分解し、刺激性又は毒性のガスを発生する可能性がある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	有毒ガスが発生する可能性があるため、消火作業の際は適切な空気呼吸器、保護衣を着用し、風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出物を環境へ放出しないように注意する。
封じ込め、浄化の方法及び機材	空容器に回収し、地域規則に従って処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	特になし。
安全取扱注意事項	眼、皮膚への接触を避けること。 換気の良い区域で使用すること。
衛生対策	取扱い後は手などをよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	日光を避け、容器を密閉し、涼しい場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度(2017年版)	
日本産衛学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	必要に応じ呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋、保護衣を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ長袖作業着を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
物理状态	液体

色	無色透明
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	>100°C(沸点)
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火点	不燃性
分解温度	データなし
pH	7.0±0.2
動粘性率	データなし
溶解度	水に混和
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下で安定。
化学的安定性	常温で安定。
避けるべき条件	日光、熱
危険有害反応可能性	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素化合物

11. 有害性情報(製品の情報が無いため、成分のデータから区分を推定した)

急性毒性	経口：ラットの LD ₅₀ 値 >2000 mg/kg。 製品の濃度から区分に該当しない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) データなし

水生環境有害性 長期(慢性) データなし

残留性・分解性 データなし

生態蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

該当しない。

国内規制

該当しない。

注意事項

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化審法

優先評価化学物質

化学物質排出把握管理促進法
(PRTR 法)

第 1 種指定化学物質(管理番号 595)

上記内容は当社で入手可能な情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。未知の有害性があり得ますので、取扱には十分ご注意ください。
本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。